

聴覚障害の英語学習 議論

群大 オンラインシンポに230人



聴覚障害者の英語学習について語り合ったシンポジウム

群馬大学教育・学
生支援機構は21日、聴
覚障害者の英語学習に
ついて語り合うオンラ
インのシンポジウムを
開いた。英語教育や特
別支援教育に携わる県
内外の学識者4人が研
究や現場経験を基にし
た意見を述べ、全国の

小中高校教諭ら230
人が見識を深めた。

英語の習得には音が
重要だとされる。言葉
を音の組み合わせとし
て捉える「音韻認識」

の力は読み書きの基盤
となるが、耳が聞こえ
にくい人はどうする
か。同大の飯島睦美教
授と中野聡子准教授、

筑波技術大の長南浩人
教授、神田外語大の河
合裕美准教授が事例発
表や議論を行った。

中野准教授は、英単
語のペアを見て2語の
共通点を見つけて分類
させるテストを紹介。

健常者は言葉を見て
「音韻」「意味」「品

詞」の順に共通点を考
えていた。聴覚障害者
は最も早く反応する要
素がそれぞれ違い、意
味を思い付くのが健常
者よりも早かったとい
う。中野准教授は「そ
の人なりの学び方と指
導法がありそうだ」と
指摘した。(高野聡)